

第2号様式

平成27年10月30日

登録団体概要書

1 団体名・活動分野・自己PR（※各項目の記載枠サイズは、適宜加工してください。）

(1) 団体名	特定非営利活動法人 浜松外国人子ども教育支援協会
(2) 種類	<input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 <input type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(3) 主な活動分野	<input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> その他の社会貢献に係る分野（ ）
(4) 自己PR・アピールポイント	外国人の子どもたちへの教育支援を始めて22年経過した。日本語や教科学習及び、母語・継承語の指導法や教材等を相違工夫してきた。 バイリンガルスタッフを含め、指導者たちが多文化共生の環境の中で協力し、子どもたちへのよりよい支援を実施してきた。

2 活動について

(1)これまでの主な活動実績	<p>2008.3 シンポジウム「在日ブラジル人の子どもたちの教育」ポルトガル語で講演会開催</p> <p>2008, 2009.4 浜松市より「外国人子ども教育支援推進事業」を受託</p> <p>2009.9 文化庁委託事業「日本語教育支援者実践的養成講座」開催</p> <p>2010.5 浜松市より「日本語・母国語教室等業務」を受託(アボザル方式による)</p> <p>2011.4 日本語指導テキスト「はまっこ改訂版」発行</p> <p>2011.～2013.4 浜松市より「通級型日本語・母国語教室等業務」を受託(アボザル方式による)</p> <p>2014, 2015.4 浜松市より「日本語・学習支援業務」及び「初期適応・母国語支援業務」を受託(アボザル方式による)</p> <p>2014.7～3月 公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金助成事業「浜松の日本語教育の現状を探る」4回講座開催</p> <p>2014.7～3月 浜松国際交流協会より助成事業「子どもフィエスタ」4回開催</p> <p>2015.7・9月 浜松国際交流協会より助成事業「未来を担う国際人を育てよう！～バイリンガル教育とブックスタートの理念に学ぶ多文化共生社会をめざして～」講演会2回開催</p>
(2)団体の目的 (定款等に記載された目的)	外国人の子どもたちを対象に、日本語教育支援及び母国語教育支援を中心とした事業を行い、その活動を基に将来を担う子どもたちの育成に努め、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に寄与することを目的とする。
(3)団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<p>①日本語で授業に参加できる力を養うため、日本語の基礎力及び、教科学力を習得する教室を開催。</p> <p>②母語を使用し、母国について学ぶ継承語教室を開催。その保護者たちへの教育啓発。</p>

(4) 現在特に力を入れている事業	①、②の事業を通じ、親子共に自立し生きていく力を身につけること。
(5) 4 の事業に関する地域の課題・目的(必要性)	(地域の課題) 保護者たちの意識の中に、地域社会の中で子どもを育てている、そして地域の人たちと共に生活している、という観点が希薄である。 (目的・必要性) 誰もが市民(地域)の構成員としての権利と義務を持って生き続けることができるようとする。
(6) 4 の事業の目標と成果の確認方法	保護者のための日本語教室及び講演会を開催している。 (目標) 日本語習得と、日本の生活及び学校のルール・教育システムを理解し、親自ら子育てをしていく一助となることを目標とする。 (成果の確認方法) 上記継承語教室に通級する子どもの保護者たちなので、その都度理解度をチェックし、子どもの学校生活に反映できているか、また家庭教育を大切にしつつ、地域と関わりを持って生活しているか等、親子共に直接確認することができる。
(7) 4 の事業に関する今後の方針性・ビジョン	子どもたちの教育に関して一番の担い手である親に対し、必要な知識や情報を提供し、家庭教育力向上をめざす。 義務教育年齢の子どもたちだけでなく、就学前の子どもたちへの言語習得及び、年齢相応の体験学習等提案する。

3 他の組織等からの支援の実績と内容

(1) 助成金・物品等、他の組織から受けた支援の実績	※直近2か年度分の実績を記載。 2014.7 公益信託チョタ遠越準一文化振興基金助成事業「浜松の日本語教育の現状を探る」4回講座開催 2014.7 浜松国際交流協会より助成事業「子どもフィエスタ」4回開催 2015.7 浜松国際交流協会より助成事業「未来を担う国際人を育てよう！－パインガル教育とピックスタートの理念に学ぶ多文化共生社会をめざして－」講演会2回開催
(2) 他のNPO・市民活動団体との協働の実績	※協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。 ・静岡文化芸術大学・NPO団体の協議のもと、多文化子ども教育フォーラム企画(準備会)及び進行 ・浜松南ロータリークラブとの共催…ポルトガル語による講演会開催 ・浜松男女共同参画推進協会…ポルトガル語まつっこ教室の子どもたちと日本の子どもたちとの交流会 ・浜松子どもメディアリテラシー研究所…インターネットや携帯などのメディアの正しい理解と使い方を、外国人の子どもたちとその保護者向けに、わかりやすく講座を開催。 ・浜松の未来を育てる会…子育て支援ひろば「ここみ広場」に参加する外国人

	親子に対して、通訳・翻訳者としてサポート
(3) 企業等との協働の実績	※協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。 なし
(4) 行政との協働の実績	※協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。 浜松市より「日本語・学習支援業務委託」「初期適応・母国語支援業務委託」受託 文化庁委託事業「日本語教育支援者実践的養成講座」開催

4 情報公開について

(1) 活動内容の報告方法	<input checked="" type="checkbox"/> 団体のホームページを利用 <input type="checkbox"/> ブログを利用 <input type="checkbox"/> ツイッター・フェイスブックを利用 <input type="checkbox"/> 活動報告会を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 現場見学会を実施 <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 寄附を受けた場合、寄附者への活動報告方法	<input checked="" type="checkbox"/> 実施活動の報告書を送付 <input checked="" type="checkbox"/> 会報等を送付 <input type="checkbox"/> メールマガジンを送付 <input type="checkbox"/> 活動報告会へ招待 <input checked="" type="checkbox"/> 活動現場の見学会へ招待 <input type="checkbox"/> その他 ()

5 寄附金募集方法・計画（※適宜表を追加してご記入ください。）

寄附金の募集方法	
寄附金募集のチラシを作成する。 研修会や講演会及び継承語教室の学習発表会等を利用して、当NPOの事業活動を説明し、チラシを配布と共に寄附のお願いをする。	
寄附金の募集計画	
対象	上記企画の参加者、主旨に賛同の企業、一般市民、NPO団体
目標寄附額	200,000円 (1事業年度間)
寄附金の使途	親子教室開催の運営費、保護者向け日本語教室及び講演会の開催費、 幼児教育（幼稚園訪問等）活動費
寄附ができる事	親子教室や保護者対象日本語教室及び講演会の開催 幼稚園を訪問し園児・保護者への支援